

# Japanese-German Graduate Externship

## 日独共同大学院プログラムニュースレター

2011(平成23)年3月発行

〒464-8602 名古屋市千種区不老町 名古屋大学物質科学国際研究センター事務室

日独共同大学院プログラム HP <http://irtg.rcms.nagoya-u.ac.jp/>



### 第10回日独共同セミナー開催

日独共同大学院プロジェクトがパイロットプログラムとしてスタートしてから第9回、第10回をかぞえる共同セミナーが、平成22年度に開催されました。特に第10回共同セミナー(11月30日~12月1日開催)は、これまでドイツで開催された中では最も遅い時期となり、ヨーロッパを襲い始めていた大寒波の影響を受け、雪や天候不良による乗継ぎ便のキャンセルや荷物到着の遅延、また帰国便の大幅な出発遅れや悪天候の影響から発生した混雑による搭乗便の変更等様々な心配がされましたが、セミナーは白熱した雰囲気の中で開催・終了し、その後全員無事に帰国する事ができました。

(写真左：握手で再会する山口茂弘教授と Armido Studer 教授、写真右：雪のミュンスター空港)



### セミナー

#### 第9回日独共同セミナー

開催日時：2010年5月24・25日(名古屋大学にて)

#### 第10回日独共同セミナー

開催日時：2010年11月30日・12月1日(ドイツ・ミュンスター大学にて)

### 今年度の派遣実績

派遣学生10名 教員派遣8名 ※セミナー派遣含む



## 平成22年度 派遣学生

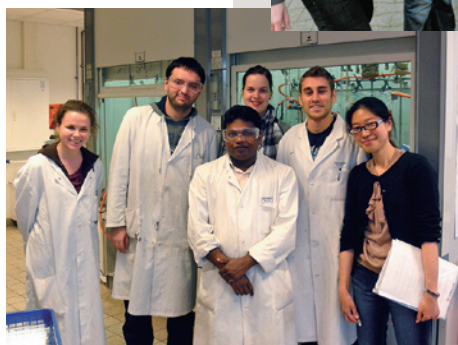
**氏名** 大石俊輔  
**期間** 2010年6月1日～2010年10月31日  
**派遣先研究室** Prof. Bart-Jan Ravoo  
**研究課題** マイクロコンタクト化学を利用したバイオオリゴマーの合成  
 Synthesis of Biooligomer Using Microcontact Chemistry

**氏名** 王 恒  
**期間** 2010年7年2日～2010年9年12日  
**派遣先研究室** Prof. Helmut Eckert  
**研究課題** 分子クラスター電池に関する in situ NMR 研究  
 In situ NMR studies on molecular cluster batteries

**氏名** 飯田あずさ  
**期間** 2010年7年5日～2010年9年5日  
**派遣先研究室** Prof. Gerhard Erker  
**研究課題** ホウ素を含む機能性化合物の合成研究  
 Development of functional organo-boron materials

**氏名** 植田桐加  
**期間** 2010年8年1日～2010年10年31日  
**派遣先研究室** Prof. Gerhard Erker  
**研究課題** ヘテロ元素の特性を活かした新合成反応  
 Heteroatom-Mediated New Synthetic Reactions

**氏名** 中塚宏志  
**期間** 2011年3月～2011年6月  
**派遣先研究室** Prof. Gerhard Erker



## 平成22年度 派遣教員

**氏名** 河野慎一郎 (助教)  
**期間** 2010年11月21日～2010年11月27日

**氏名** 荘司長三 (助教)  
**期間** 2010年12月5日～2010年12月15日

## 平成22年度 セミナー派遣学生 (第10回日独共同セミナー:ドイツ)

**氏名** 藤城貴史  
**講演タイトル** Construction of versatile monooxygenation systems using hydrogen peroxide-dependent cytochrome P450s

**氏名** 橋本享昌  
**講演タイトル** Synthesis of Coordinatively Unsaturated Mesityliron Thiolate Complexes and Their Reactions with Elemental Sulfur

**氏名** 名倉和彦  
**講演タイトル** Novel Fluorescent Oligoarenes; Excited-State Structural Change and Mechanochromism

**氏名** 中塚宏志  
**講演タイトル** Design and Synthesis of Linear N4 Chiral Ligands: Its Application to Asymmetric Hydrogenation of Aromatic Ketones

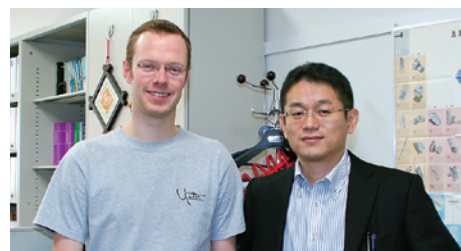
**氏名** 飯島祐樹  
**講演タイトル** Scanning Tunneling Microscopy/Spectroscopy Studies on the Local Electronic Structure of Hetero-Metallofullerenes Peapods





## 平成22年度 受入学生

氏名 Achim Bruch  
期間 2010年2月15日～2010年8月13日  
受入研究室 反応有機化学研究室（山口茂弘教授）



氏名 Sylvia Kirchberg  
期間 2010年4月12日～2010年10月28日  
受入研究室 有機化学研究室（伊丹健一郎教授）



氏名 Melanie Rauschenberg  
期間 2010年4月12日～2010年9月30日  
受入研究室 分析化学研究室（田中健太郎教授）

氏名 Marcel Harhausen  
期間 2010年10月1日～2011年4月15日  
受入研究室 反応有機化学研究室（山口茂弘教授）

氏名 Sina Schwendenmann  
期間 2010年10月1日～2011年4月15日  
受入研究室 特別研究室（斎藤進准教授）



氏名 Benedikt Neue  
期間 2010年11月1日～2010年12月31日  
受入研究室 反応有機化学研究室（山口茂弘教授）

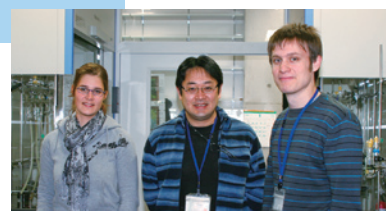
氏名 Christina Meyer  
期間 2010年11月1日～2010年12月31日  
受入研究室 有機化学研究室（伊丹健一郎教授）



氏名 Adrian Schulte  
期間 2011年1月4日～2011年7月27日  
受入研究室 特別研究室（斎藤進准教授）

氏名 Anna Junker  
期間 2011年1月4日～2011年7月27日  
受入研究室 有機化学研究室（伊丹健一郎教授）

氏名 Hendrik Wagner  
期間 2011年1月6日～2011年7月18日  
受入研究室 生物無機化学研究室（渡辺芳人教授）

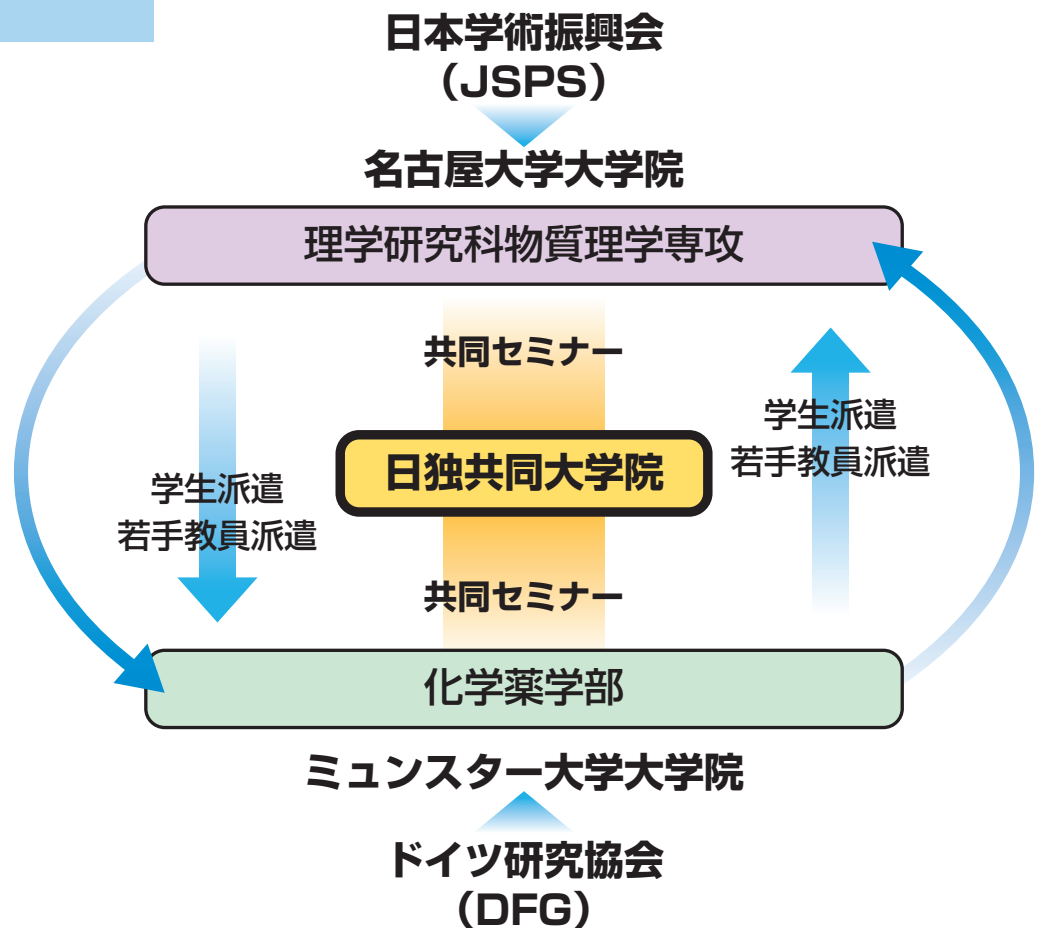


氏名 Jan Mehlich  
期間 2011年2月1日～2011年2月28日  
受入研究室 物理化学研究室（篠原久典教授）

氏名 Christoph Glotzbach  
期間 2011年2月3日～2011年8月19日  
受入研究室 反応有機化学研究室（山口茂弘教授）



## このプログラムの仕組み



今年度も多くの学生がミュンスターを訪れ、またたくさんのドイツ人学生が名古屋大学で研究滞在を行いました。博士課程1年生の時に「ミュンスターへ行きたいです！」と言っていた学生が、研究の都合等でなかなか訪問の機会を得ず、3年生の最後になりやっとその希望が叶った事は、事務として大変感慨深いものがありました。卒業し、研究者生活をドイツでスタートする事になったその学生には、これからも頑張っていて欲しいと思います。

冬のミュンスターで行われた第10回共同セミナーを寒波が襲いながらも無事に全日程を行い全員帰国したことを振り返った際、前回（第7回）のドイツでの共同セミナー開催で訪独している間に、新型インフルエンザが世界的大流行し、帰国した教員や学生達が出勤、出校できなかった（感染拡大のおそれがあった国へ出張したため）こと等を思い出しました。第10回をむかえるまでもに様々なことがありましたが、この意義ある共同大学院プログラムがこれからも続き、さらに発展していくことに、我々事務も尽力していきたいと考えています。



クリスマスマーケット